

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ぐりんぴいす		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用児さんが安心して、楽しく通所できている。 (ご利用児さん、保護者様の満足度が高い)	日頃から保護者様と情報共有を行い、スタッフ間でも共有していき、支援に取り入れている。 ご利用日には、連絡帳に様子を記入すること、送迎時にお伝えすること、写真や動画を取って送ることを行っている。	絵本や玩具など、ご利用児さんの興味や好みに合わせて、時々入れ替えをしている。 外のお出掛け先を増やしていったり、雨天時の過ごし方で新しい取り組みを考えたりして、楽しめる事を増やしていく。
2	季節のイベントを取り入れ、様々な体験ができるよう工夫して活動を行っている。	・利用児さんの興味・関心など情報共有を行っており、お子様やご家族様のニーズに合わせてプログラムを作成している。 ・季節のイベントは意識して取り組んでいる。	・様々な体験を通して、自分でできる事が増えていく、興味が持てるが増えていくことを狙って取り組みを行っている。 ・クッキングやお出掛け、お店屋さんごっこなど、ご家庭ではなかなかできないことの体験ができる場とする。
3	関係機関との交流を行っている。	相談員さん、保育園や幼稚園などの関係機関に伺ったり、また当事業所に来所していただいたりして、見学や情報共有を行っている。	こちらから積極的に訪問すること、気になることなどあれば、相談員さんに確認していくことなど行っていく。 参観日や発表会のお誘いがあれば、可能な限り参加していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応や安全確保などの取り組みについて、保護者様へ情報がしっかり伝わっていない。	災害時、緊急時対応等マニュアルは整備されているが、保護者様へしっかりと情報が伝わっていないことが自己評価アンケートによりわかった。	保護者様へ年度当初にお伝えすること、面談時にも再度お伝えすることで周知していく。 また、保護者様向けに訓練があると良いとの意見があった為、取り入れていきたい。
2			
3			